



『ツィッタウの短い夏』 林 保明

## 『ツィッタウの短い夏』 (2009年・ドイツ)

もう12年も前の事、旧東欧圏で音楽を聴きドレスデンでゼンパーオペラを見た次の日、列車で2時間ほど掛けて、以前から行きたかったチェコとポーランド両国境近くの、ツィッタウと言う小さな街に出かけて行った。

旧東ドイツ側の地域には、狭軌のSL（蒸気機関車）が未だ元気に走っていて、機械好きのドイツ人観光客や、外国からきた鉄道ファンを楽しませている。

SL撮影を目的としてやって来た僕は、乗り換えのために降りた駅前広場しか知らないけれど、後で調べてみるとこの街には小さいながらも劇場があり、オペラやバレエが年に何回か上演されている。

人口3万人程の街にバレエ団があり、70年以上前に製造された古い蒸気機関車が現役で走ると言う、この芸術・技術・文化の違いについてはいつも驚かされる。











ドイツの狭軌鉄道には130年以上の歴史があり、今でも10カ所ほどここ同様のSLが走る路線が残っている。

その多くは幹線のローカル駅とリゾート地を結ぶ短距離路線で、マニアの間で有名なハルツ狭軌鉄道のように、20両以上のSLを持ち総延長140Kmに及ぶ大規模なものから、小さなものは延長僅か2Km、1両の機関車が行ったり来たりするものまで様々な形態の路線が残っている。

乗客は地元の住民とハイキング・スキーなど季節ごとに訪れる観光客、日本で言う小湊鉄道・いすみ鉄道といった類の鉄道であろうか？

パンフレットを読むと無蓋車にブラスバンドを乗せたミュージック・トレインや、動体保存された古いディーゼル車両の運行と言ったイベントも、毎年行われている。



**Messe  
modell-hobby-spiel  
in Leipzig**  
vom 2. - 4. Okt. 2009

Große Präsentation von:  
- der Dampfbahn-Routen "Sächs. Schmalspurbahnen"  
- SSB-Medien, der Verlagsabteilung der Sächs. Schmalspurbahnen  
- der Zittauer Schmalspurbahn und deren Partner

**vhs** mit VT 137 322  
*Züge* historisch-kulinarische Exkursion

**Termine 2009:**  
6. Mai  
3. Juni  
2. September  
7. Oktober



Verbindliche Anmeldung über die VHS,  
Telefon 03583 512205 ist zwingend erforderlich.

**OFFENER MUSEUMSBAHNHOF  
BERTSDORF**  
KM 0.92 ZD - 336.31 M NN

**Termine 2009:**  
11. April  
30. Mai  
20. Juni  
11. Juli  
1. + 2. August  
3. + 4. Oktober

Besuchen Sie den Bahnhof Bertsdorf und erleben Sie das heute noch vorhandene Fluidum eines Schmalspurbahnhofs einschließlich seiner Nebenanlagen.

*mit Dampf  
ins Gebirge!*  
**ZITTAUER  
SCHMALSPURBAHN**



**Veranstaltungen**  
Nur zu erleben im  
Zittauer Gebirge. **2009**









それにしても地方の鉄道会社が数多くの蒸気機関車を動体保存し、客車やレールの状態を整備・維持しながら、経営が成立っているのは素晴らしい事だ。

分岐点の駅ベルツドルフで降りてみた。今は無人駅だけれど事務室はそのまま保存され、硬券の切符棚が残っていた。壁にはホーネッカー書記長（ドイツ社会主義統一党）の写真が掲げられている。東西が統一されて31年、昔を懐かしむ風潮があるのだろう、2年前に行ったベルリンでも東ドイツの生活を展示した博物館が人気だった。

待合室には自動販売機ならぬ自動体重計が置かれ、家族に連れられた女の子が、体重を計りたい様子で母親と話していた。（荷物の重量を計る為の物かもしれない）

その駅舎に隣接して小さなホテルがあった。レストランを覗くと、中にはSLの模型列車が走っている。お腹も空いて来たので次の列車が着くまで、サラダとビールを注文してしばしの休息、午後の日差しが差し込む先には一輪の赤いバラが活けられ、模型列車が飲み物を運んでいた。











帰りの列車がやってきた。反対方向の交換列車も着き、老若男女・犬も含めホーム上でのしばしの賑わい。

出来る事なら、こんな場所でひと夏を過ごしてみたいのだけれど、新型コロナの様子を見ていると、まだまだ海外に行くのは難しいかも知れない。

70歳を過ぎ体力的に考えても、荷物を持って移動する旅はもう無理だと思うけど「せめて一ヶ所に留まる旅なら、何とか出来ない事はないだろう？」と何時も考えている。

「写真展ももう一度やってみたい！」などと欲張ったことを考えながら、老後の楽しみについて思いを巡らす『コロナ2年目の夏?』

撮影場所 ドイツ・ツィッタウ狭軌鉄道  
<https://www.zittauer-schmalspurbahn.de>

撮影機材

ミノルタCLE M-ロッキール 28mm/F2.8

ミノルタα-SweetII ロッキール 50mm/F1.4 トキナー 28-70mm/F3.5





こんな風にブラっと旅に出てみたいなあ！